

平成24年度「県民Webアンケート」結果の活用状況

※活用状況

- A 実施中の事業・施策の改善 :8
- B 現在、検討している事業・施策の参考 :2
- C 今後、事業・施策を検討する際の参考 :2
- D その他 :0

アンケートのテーマ名	アンケート実施期間	会員数	回収数	回収率	アンケート内容(導入文章)	活用状況	活用状況詳細	課名
1 「ムジークフェストなら2012」開催について	2012/8/3 ～ 2012/8/9	236	198	83.9%	本年6月14日～24日の11日間にわたって、奈良で初めて開催された音楽祭「ムジークフェストなら2012」。主催者の当初予想を大幅に上回る、多くの方にご来場いただきました。 このアンケートは、県民の皆さんのご意見をお聞きし、今後の音楽祭の企画・運営に活用させていただくものです。ご協力よろしくお願いします。	A 実施中の事業・施策の改善	音楽祭の認知度が低かったこと、また音楽祭全体の概要をご存知ない方が多くいらっしゃったことから、情報発信の早期化や多様化を進めていく。 また、音楽祭に対する多様なニーズがあることから、幅広い層の期待に沿うようなコンサートを展開していく。	文化・教育課
2 誰もが若草山からの眺望を楽しめる移動施設(乗り物)の整備について	2012/8/17 ～ 2012/8/23	236	195	82.6%	県では、バリアフリーの観点から、高齢者の方を含め、誰もが奈良公園の観光を楽しめるよう、平成20年度より、若草山麓、春日大社など主要な観光地間の移動を支援する周遊バスを運行しています。しかしながら、若草山からの眺望を楽しむには、山麓から急勾配の斜面を登ることが必要となります。このため、バリアフリーの一環として、周遊バスとあわせて、若草山からの眺望を楽しめるような移動施設(乗り物)の整備を検討しています。 このアンケートは、今後検討を行う際の基礎資料として、県民ニーズの把握を目的としています。	B 現在、検討している事業・施策の参考	移動支援機能の導入検討にあたり、必要性や留意すべき事項の見解を確認し、検討を行う際の参考資料として活用していく。	奈良公園室
3 県産農産物、奈良のお土産・手土産、中央卸売市場のイベントについて	2012/8/31 ～ 2012/9/6	236	202	85.6%	マーケティング課では、奈良の「食」振興のため、県産農産物の生産・消費拡大を目的として、様々な事業を展開しています。今回のアンケートは、県産農産物に対する県民の意識を把握し、今後の取り組みの参考とするために実施します。 また、奈良県中央卸売市場では、県民の皆様が市場のことを知り、より理解を深めてもらうため年2回「市場まつり」を開催しています。「市場まつり」をさらに県民に楽しんで来てもらえるイベントにするために、どのような企画をすれば良いか参考にするため実施します。	A 実施中の事業・施策の改善	県産農産物を優先して購入しない理由として、「どこで販売しているかわからない」との意見が多くあったことから、引き続き、スーパーマーケットや農産物直売所との連携を強め、県産農産物のPR・販売を推進していく。 また、市場まつりについてのご意見は、市場まつり委員会等で、市場まつりのイベントを企画する際の参考にします。	マーケティング課 中央卸売市場
4 奈良県南部地域と東部地域の観光魅力と課題	2012/9/14 ～ 2012/9/20	236	202	85.6%	奈良県では、平成23年度より、南部振興課を設置し、奈良県南部地域及び東部地域の振興に取り組んでいるところであります。今後よりいっそう南部・東部地域へ訪れる観光客の増加を目指し、南部・東部地域の新たな魅力発掘、課題の改善に取り組むため、皆様に南部・東部地域に対するイメージや課題をお伺いしたいと思います。 【参考】南部地域：五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村 東部地域：宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	県内及び県外からの南部地域・東部地域への誘客の増加を図るため、まだ魅力が十分に伝わっていない点があることから、HPや雑誌に加え、SNSやスマートフォンアプリなど様々な媒体を使った情報発信や新たな魅力の創出を推進していく。	南部振興課
5 奈良市中心市街地における渋滞対策について	2012/9/28 ～ 2012/10/4	236	197	83.5%	このアンケートは、県民の皆様の奈良市中心市街地への来訪実態の把握と、特に観光期における今後の渋滞対策の参考とする目的で実施するものです。経年による傾向を把握するため、昨年度に引き続き、ご協力をお願いします。 ※奈良市中心市街地とは、概ね奈良公園、平城宮跡、西の京を囲む地域のことを言います。	A 実施中の事業・施策の改善	奈良市中心市街地への来訪手段としては、依然としてマイカーの割合が高いため、市中心市街地内における公共交通機関の利便性向上を図るとともに、パーク&バスライドや、周遊バスの情報など、市中心市街地の渋滞緩和に資する各種情報の発信を強化していく。	道路・交通環境課
6 県の広報媒体について	2012/10/12 ～ 2012/10/18	236	198	83.9%	県民の方を対象にしたより良い広報ツールのあり方を検討するためには、定期的に現状を把握し、県民の方から意見を聞く必要があります。そのため、県の広報媒体(広報誌・テレビ・ラジオ・インターネット・メールマガジン)の認知度などを調べ、内容の充実を図るためのアンケートを実施します。 なお、質問項目にある広報媒体の概要については以下のとおりです。 <Q2> 県民だより奈良(毎月1日発行、県内全戸配布) <Q3> 大仏さんのつづき情報(毎月10日・25日発行のパソコン版メールマガジン)ミニなら(毎週1回発行の携帯電話版メールマガジン) <Q4> 県政フラッシュ(奈良テレビ放送 毎日21:54～22:00) <Q5> 県政ほっとライン(FMハイホー81.4MHz 月・水・金10:15～火・木16:45～土11:45～) 県政HOTインフォメーション(ならどっとFM 78.4MHz 月・水・金11:15～ 18:45～) <Q6> せんとくん通信(奈良テレビ放送「ゆうドキッ!」内 毎週水曜の18:30頃～) <Q7> 県政こどもチャンネル「あ!そ〜か」(奈良テレビ放送「ゆうドキッ!」内 第2・4火曜の18:30頃～) <Q9> 大型ディスプレイ設置場所(イオンモール大和郡山3Fフードコート内・JR王寺駅中央改札口前・県立医大附属病院正面玄関前ロビー)	A 実施中の事業・施策の改善	県の広報媒体の認知度を把握できた。県民が、県政に関する情報の入手元の最大のツールとして、引き続き、県民の方が知りたい情報、具体的な情報などを分かりやすく伝えていきたい。メールマガジンは、登録者数を増やすために登録キャンペーンを継続するなど、その告知を引き続き、広報誌などで行っていきたい。 番組の認知度を踏まえ、平成25年度の構成を見直し、新番組を検討する基礎資料となった。また、面白くないと思われる県政広報を、親しみのあるわかりやすい内容にすることに取り組むとともに、様々なツールを相互に活用して告知に取り組むこととした。いただいたご意見を参考に、更なる県政広報の充実に取り組んでいく。	広報広聴課
7 屋外の広告物に関するルールの見直しに関する意識調査	2012/10/26 ～ 2012/11/1	236	203	86.0%	屋外で出される広告物(独立して立っていたり、建物の屋上や壁面を利用した看板等)は、まちの景色を考えると非常に重要な要素であり、表示にあたっては場所や面積、色彩といった項目について一定のルールが設けられています。 しかし、近頃の広告物製作の技術革新や電光掲示板等の普及により、これまでのルールが現状にそぐわないといった課題がでてきました。 現在、奈良県では、県内の市町村と共に広告物等のルールを時代の要請に沿ったものとなるように見直しを進めており、県民の皆さんが広告物等に対してもってられる意識や意見を参考にしたいと考えています。	B 現在、検討している事業・施策の参考	現在進めている屋外広告物のルールに関する見直しについて、皆さんの意識や意見を参考に、屋外広告物の大きさや色等に関する具体的なルールの内容の検討を進めていきます。	風致景観課
8 紀伊半島大水害に関する意識調査	2012/11/9 ～ 2012/11/15	236	193	81.8%	県では、昨年9月に県南部地域を中心に甚大な被害をもたらした「紀伊半島大水害」(台風12号災害)からの復旧・復興を県政の最重要課題とし、全力で取り組んでいるところであります。 今回のアンケートは、紀伊半島大水害に関する認知度や、復旧・復興にかかる県の取組状況に対する県民の意識を把握するために実施するものです。今後の取組の参考とさせていただきますので、ご協力いただきますようお願いいたします。	C 今後、事業・施策を検討する際の参考	紀伊半島大水害に関する認知度、関心度、情報の入手源等の情報を把握できた。災害の内容については知らない方も多いため、紀伊半島大水害の情報を集約する奈良県復興ポータルサイトにおいてもアンケートの結果を紹介した。 また、結果をクロス集計し、分析した結果、平野部の人にも関心度が高いなどの内容について復旧・復興推進会議の幹事会において報告を行った。	復旧・復興推進室
9 古事記・日本書紀・万葉集についての認知度、興味度調査	2012/11/23 ～ 2012/11/29	236	203	86.0%	奈良県では、古事記完成1300年目にあたる2012年から、日本書紀完成1300年目にあたる2020年までの9年に及ぶ長期のスパンで、「記紀・万葉プロジェクト」を推進しています。そこで、古事記・日本書紀・万葉集について、皆様の認知度、興味度をお伺いしたいと思います。 このアンケートは一部同内容の設問で一昨年度より実施しております。昨年度以前よりアンケートにお答えいただいている皆様には同様の質問になりますが、経年による変化も把握したいと思っておりますので、御協力をお願いします。	A 実施中の事業・施策の改善	平成22年度から同じ質問を行ったため、「記紀・万葉」に関する県民機運の上昇を観察できた。3年分のデータ蓄積によって、県民の認知度、興味度等がより鮮明になり、また、記述式回答にも積極的にご回答いただき、今後の事業展開方向を考える際の参考となった。	ならの魅力創造課
10 ボランティア・NPOに関するアンケート	2012/12/7 ～ 2012/12/13	236	198	83.9%	奈良県では、地域の課題をみんなで力を合わせて解決し、くらしやすい地域をつくることを目指しています。この目的を実現するために必要なボランティアへの参加やNPOの活発化について、皆さんの考えや行動を教えてください。今後の施策に反映させていきたいと考えております。 なお、平成22年度より、アンケートを実施しておりますので、一部の設問については、前回と同様の質問になりますが、年度毎の比較をしたいと思いますので、ご協力をお願いします。	A 実施中の事業・施策の改善	ボランティアに関する情報提供ツールである「奈良ボランティアネット」や「登録ボランティア制度」についてまだ認知度が低い傾向であることから、今後も積極的な周知を図る。 他に、2月に実施した「ボランティア情報交流会」でアンケートの結果を示し、奈良県のボランティアに関する意識について関係団体や参加者へも情報を提供した。	協働推進課
11 奈良県の「人権」イベントについて	2012/12/21 ～ 2012/12/27	236	195	82.6%	このアンケートは、奈良県で行われている「人権」に関するイベントについてお尋ねするものです。 奈良県では、現在、「人権」をテーマにさまざまなイベントを開催しています。 ふだんはむずかしく考えてしまいがちな「人権」というテーマを、県民のみなさまに、より身近に感じていただけるイベントにするため、イベントについての率直なご意見・ご感想をお聞かせください。 このアンケートは平成22年度より同様の形で実施しております。昨年度以前よりアンケートにお答えいただいている皆様には同様の質問になりますが、以前の結果と比較したいと思いますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。	A 実施中の事業・施策の改善	アンケートの結果、参加者の多くが高齢者が占めていることが分かった。また、不参加の理由として、イベント開催に対する認知度の低さもうかがえた。今後、若い世代や、子ども、ファミリーの参加を増やすため、イベント内容の改善を図るとともに、広報についても、従来の紙媒体の他にHPを積極的に活用する等、人権に親しみを感じてもらえるような工夫を試みる。	人権施策課
12 県民ホール「展示ブース」等について	2013/1/11 ～ 2013/1/17	236	191	80.9%	県庁東棟1階の県民ホールの「展示ブース」では、週替わりで県庁各課が事業等を紹介する展示を行っています。また、県民の方が求める行政や暮らしに関する最新の情報を提供するため、各種パンフレットを配置する「県民お役立ち情報コーナー」を県民ホールなど県内7カ所に設置しています。 このアンケートは、県民の皆さんのご意見をお聞きし、今後の「展示ブース」及び「県民お役立ち情報コーナー」の企画・運営に活用させていただくものです。ご協力をお願いします。	A 実施中の事業・施策の改善	「展示ブース」及び「県民お役立ち情報コーナー」に関して、共に認知度がまだまだ低いため、認知度の向上を図るために、県HP以外にも「展示ブース」及び「県民お役立ち情報コーナー」の位置図を配置するなど積極的な広報活動を推進していく。	広報広聴課